

平成 2 9 年 第 4 回 定 例 市 議 会

*
*
*
*
*
*
*
*
*

行 政 報 告

北 海 道 恵 庭 市

第4回定例会が開催されるに当たりまして、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

都市間交流について

はじめに、都市間交流について申し上げます。

9月10日に本市で開催された「えにわん産業祭」には、和木町地域振興協会及び商工会から3名、藤枝市からは産業政策課より3名の市職員のほか民間事業者14名の皆様に参加をいただき、それぞれのまちの特産品の紹介などを行い、会場では藤枝市と恵庭市の企業マッチング商談会も開催いたしました。

また、10月29日に和木町で開催された「わき愛あいフェスティバル」には、本市職員3名が参加し、交流を図って参りました。

また、同日に藤枝市で開催された「フードスマイルフェスティバル」には、本市より市職員5名のほか、観光協会、JA道央及び民間事業者から11名が参加し、特産品販売及び本市のPRを行ったところであります。

今後も、文化、スポーツ、教育、経済など幅広い分野での交流促進を図り、それぞれのまちの発展に努めて参ります。

本庁舎の狭隘化対策について

次に、本庁舎の狭隘化対策について申し上げます。

建設部の市役所第2庁舎移転後、引き続き行っておりました本庁舎1階の市民ロビー及び通路の拡幅、授乳室の設置及び会議室の増設などの改修工事が終了いたしました。今後とも、来庁される方にとって親しみやすい庁舎となるよう環境整備に努めて参ります。

防衛大臣感謝状の受賞について

次に、防衛大臣感謝状の受賞について申し上げます。

10月28日に行われた平成29年度防衛大臣感謝状贈呈式において本市に対し小野寺防衛大臣から感謝状の贈呈を受けたところであり

ます。

同表彰は、自衛隊の諸活動に対する理解のもと、永年にわたり自衛官募集に積極的に協力した本市の功績に対して評価をいただいたものであります。

今後におきましても、自衛隊札幌地方協力本部恵庭地域事務所及び自衛官募集相談員と連携し、効果的な募集事務の推進に努めて参ります。

北海道防災総合
訓練について

次に、北海道防災総合訓練について申し上げます。

北海道防災総合訓練が10月20日に、本市や防災関係機関等と連携して実施されました。

本訓練は、支援物資の輸送訓練であり、北海道の物資集積拠点から本市の集積所である総合体育館に輸送し、物資の受入れや仕分けを行うとともに、避難所となる黄金ふれあいセンター及び小中学校7校へ支援物資を配送したところであります。

また、訓練には、高橋はるみ知事が黄金ふれあいセンターに訪れ、防災関係機関等との連携した支援物資の輸送など一連の手順を確認されました。

本訓練の参加を通して得た教訓を踏まえて、地域の災害対応力の強化に努めて参ります。

地域防災力の向上
について

次に、地域防災力の向上について申し上げます。

地域版避難所運営マニュアルの作成についてであります。地域において、町内会、学校、PTA及び市が連携し、円滑な避難所の開設・運営を図るため、本年度は柏陽中学校をモデルに地域版避難所運営マニュアルの作成を目指して取組を進めております。これまで、2回の学習会を開催しており、来年2月には3回目の学習会を開催し、地域の状況に応じた避難所運営マニュアルの作成を行って参ります。

また、災害ボランティアセンター連絡会議についてであります。災害ボランティアセンターの円滑な設置及び運営を図るため、これまで関係機関で構成する連絡会議を2回開催しており、10月8日には、「地域防災フォーラム」を開催いたしました。当日は町内会・自治会や北海道地域防災マスター、防災関係機関者など約150名の参加があり、充実したものとなりました。

今後におきましても、平常時から「顔の見える関係」づくりを進め、災害時における円滑なボランティアセンターの開設・運営に取り組んで参ります。

特別職報酬等審議
会の開催について

次に、特別職報酬等審議会の開催について申し上げます。

本年8月に、期末手当の0.1か月引上げなどの人事院勧告があったことから、これを受けて10月3日に恵庭市特別職報酬等審議会を開催し、市議会議員、市長及び副市長並びに教育長の期末手当の額に加えて、報酬額について諮問したところであります。

このことについて、同月31日に、期末手当の額については、人事院勧告に準じた内容で改定を行うこととして答申を受けております。

なお、市議会議員、市長及び副市長並びに教育長の報酬の額については継続審議となったことから、引き続き審議会の意見を聴取し対応して参ります。

マイナンバーを
利用した自治体間
の情報連携につい
て

次に、マイナンバーを利用した自治体間の情報連携について申し上げます。

マイナンバーを利用して住民が各種手続の際に行政機関に提出する書類の省略を可能とする情報連携について、本年7月からの試行運用を経て11月13日より本格運用を開始しました。

情報連携については、異なる行政機関の間に専用ネットワークシス

テムを構築するほか、本市においてもセキュリティ強化を図ってきたところでもあります。

本格運用に当たっては、市民サービスの一層の向上とともに、更なる安全・安心な情報システムの運用に努めて参ります。

行政改革推進の取組について

次に、行政改革推進の取組について申し上げます。

本年度、行政評価対象事業の新たな抽出方法として実施した、課及び職員からの行革提案につきましては、97件の提案がありました。

これらの提案に対し、行政改革推進本部の第1専門部会において審査及び評価を行い、取りまとめた結果につきましては、10月25日の第2回行政改革推進本部会議で審議し、11月7日の第3回行政改革推進委員会において意見の具申をいただいたところでもあります。

当該内容につきましては、本定例会において、議会にご報告させていただくこととしております。

地方創生について

次に、地方創生について申し上げます。

10月31日に第2回恵庭創生懇談会を開催し、恵庭市人口ビジョンデータの更新について、また、平成29年度地方創生推進交付金事業の実施状況及び総合戦略の改定について各委員より意見をいただいたところでもあります。

なお、これらの意見を反映した総合戦略の改定につきましては、引き続き検討して参りますが、2017年版人口ビジョンの更新等につきましては、本定例会において、議会にご提示させていただくこととしております。

まちづくり拠点整備事業について

次に、まちづくり拠点整備事業について申し上げます。

(仮称) 緑と語らいの広場複合施設につきましては、8月より着工し、

当初のスケジュールどおり順調に工事が進んでおります。

事業者が公募しておりました施設の愛称募集につきましては、410件の応募をいただき、選考委員会において「えにあす」に決まりました。恵庭らしさを感じられ、本施設を利用する皆様に親しまれる愛称が選ばれたのではないかと考えております。

今後も、関係市民の皆様への周知を行い、工事の安全を確保しながら平成30年4月の開業に向け取り組んで参ります。

なお、本定例会におきまして、本事業の移転に伴う補正予算案及び施設の条例改正案を提案させていただくこととしておりますので、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

次に、松園地区住宅地につきましては、事業予定者の計画に基づき、本年度末の市街化区域の編入及び関連する都市計画決定に向けた各種手続と、環境配慮型住宅としての仕様などについて関係機関との協議を進めているところであります。

次に、恵庭かわまちづくり事業につきましては、計画書の素案について関係する恵庭市水と緑のまちづくり審議会等において説明し、ご意見をいただいたところであり、その内容を踏まえ、本年度中に計画書の策定及び申請書の提出ができるよう、河川管理者である国と協議を続けて参ります。

焼却施設等周辺
地域連絡会議の
設置について

次に、焼却施設等周辺地域連絡会議の設置について申し上げます。

本会議は、焼却施設の建設工事に関する情報の提供及び施設稼動後における施設の運転状況や環境測定結果などについて、地域住民の方々や関係団体と広く情報を共有するとともに、施設運営に関する意見の聴取などを行うことを目的に常設の会議として設置し、9月27日に第1回目の会議を開催いたしました。

この会議では焼却施設のみならず、生ごみ・し尿処理場や下水終末

処理場といった関連施設全体を対象としてきめ細やかな情報提供を行うことなどにより、地域の安全安心の確保に努めて参ります。

スポーツ振興について

次に、スポーツ振興について申し上げます。

愛媛県で開催されました「第72回国民体育大会」に恵庭南高校、恵庭北高校の両校から7名の選手が参加いたしました。

本大会では、10月6日から10日に行われた陸上競技において、恵庭北高等学校1年の御家瀬^{みかせ}緑^{みどり}さんが少年女子B100mと同種別の走り幅跳びにおいて、優勝という輝かしい成績を上げたところであり、今後更なる活躍が期待されるところであります。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

水稻につきましては、北海道農政事務所によりますと、作況指数は全道で103、石狩管内は105となっており、恵庭市では、収量は多め、品質は平年並み、食味は良好と伺っております。

他の農作物につきましては、9月18日の台風18号による圃場での滞水があったものの、順調に収穫の大半を終えております。

次に、市営牧場につきましては、5月25日の入牧以降、酪農家16戸より最多で204頭の乳用牛を受け入れ、大きな事故もなく、10月20日と21日の2日間で全頭退牧しております。

雇用対策について

次に、雇用対策について申し上げます。

雇用情勢については、恵庭・千歳管内における9月末の有効求人倍率が1.03倍で、前年同月に比べ0.11ポイント上昇し、人手不足感が高まってきております。

市としましては、地元企業への就職や理解を促進するため、9月には地元企業38社による合同企業就職説明会を開催し、求職者72名が

面接するとともに、10月には大学・専門学校生と中学生52名による市内企業5社をバスで巡る「恵庭の企業探検隊」を開催いたしました。

今後も、9月25日に市役所第2庁舎に移転リニューアルした「ジョブガイドENIWA」で求人求職の窓口相談など、きめ細かな就職促進を図って参ります。

台湾華僑招聘事業
について

次に、台湾華僑招聘事業について申し上げます。

本年5月、関東在住の台湾華僑14名の招聘に引き続き、11月5日から3日間の日程で27名を招聘し、恵庭日台親善協会の会員や地元企業、教育機関との交流会や商談会を開催するほか、観光資源の視察を実施いたしました。

招聘したメンバーには、亜州台湾商会連合総会の榮譽総会長など、日台経済交流を担う各種団体の代表者が8名含まれていたことから、在日華僑や台湾本土企業との新たな取引や市への投資の契機となるものと期待しています。

今後も、経済や文化で台湾本土と深い関係をもつ在日華僑の方々との連携を継続し、地域経済の活性化につなげて参ります。

秋のイベントにつ
いて

次に、秋のイベントについて申し上げます。

10月6日から9日までの4日間、「恵庭溪谷紅葉バスめぐり」を実施し、参加者は市内外から計489名となりました。

期間中は、花ガイドをはじめ、市内大学や専門学校の留学生が案内するほか、「えにわマルシェ」が2店出店し、9割以上の参加者から「満足した」とのアンケート結果が得られております。

次に、ハロウィンにつきましては市内農家が生産した約12,000個のカボチャが、10月初めから市内100箇所に並べられ、10月27日・28日の両日は、恵み野商店会など市内各所で多くの

イベントが開催されました。

中でも、今年で3回目となる恵庭青年会議所などが主催する「えにわ
ハッピーハロウィン2017」では、道と川の駅「花ロードえにわ」に
子どもたちがカボチャ約3,000個を飾り付け、親子ゲーム大会など
を楽しみました。

以上、はなはだ簡単ですが第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

なお、今議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますようお願い申し上げます。